※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　精選現代の国語（第一学習社）						
副教材等	シグマベスト　漢字検定対応５級～2 級　ダブルで攻略　常用漢字（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・皆さんが活躍するこれからの日本，世界は多様な価値観の存在，それに伴う人との対話の力が必須となる時代です。そのために，1 年生では将来に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・様々な文章を読み，コミュニケーションのための話す・聞く力や意思を伝えるための書く力をしっかりと身に付けて，より深い思考・判断・表現ができるようになりましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 我が国の言語文化および言葉の特徴やきまり，漢字などについて理解し，知識を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言語がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・本文に取り上げられた問題について自分に照らして考えを深める。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように，根拠の示し方や説明のしかたを工夫する方法を学ぶ。 ［教材］ 「生きもの」として生きる	a:主張や論拠，個別と一般化，推論など，情報と情報との関係を理解している。 b:［読・書］文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 c:「生きもの」としての自分について考えることができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析
	・論理的な文章の構成を理解し，その叙述方法を把握する。 ・西洋と東洋の文化を比較し，その違いについて理解する。 ［教材］ 水の東西	a：西洋と東洋の文化的特徴について理解している。 b:［読・書］文章の形態や文体による特色について理解している。 c:「文化」について考えることができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析
	・話し言葉と書き言葉の特徴および，目的や場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を工夫する。 ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ［教材］ 話し方の工夫・待遇表現	a：話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。 b:［話・聞］比喩や例示を用いた表現を理解している。 c：相手や場に応じた表現が選択できている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析
	・以前に学習した評論文と比較する。 ・日本文化について理解する。 ［教材］ 「間」の感覚	a:主張や論拠，個別と一般化，推論など，情報と情報との関係を理解している。 b:［読・書］文章の特色について理解している。 c：ものとことばの関係性に興味を持っている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析

※令和４年度以降入学生用

2学期	・目的や意図に応じて適切な題材を決め，伝える内容を明確にする。 ・自分の考えが適切に伝わるよう，根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ［教材］ スピーチで自分を伝える	a:表記・表現の基本ルールを理解している。 b:［書］接続表現の種類や用法を理解している。 c：比喩などの表現技法を使って文章を書くことができている。	行動の観察記述の確認・分析	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・自分の意見を大勢の聞き手に分かりやすく伝えるスピーチの方法を理解し，実践する。 ・他人のスピーチを聞き取り，評価する。 ［教材］ スピーチで自分を伝える	a：スピーチの手順や方法を理解している。 b：［話・聞］大勢の聞き手にわかりやすく 伝えるスピーチを実践できている。 c：他者のスピーチを客観的に評価できている。	行動の観察記述の確認・分析	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・例示と意見の関係を整理して論理構成を把握する。 ・言語の持つ性質について理解する。 ［教材］ ものとことば	a：言語の持つ虚構性について理解している。 b:［読・書］文章の形態や文体による特色について理解している。 c:ことばの構造や仕組みに注意し，自身の言語活動に生かそうと努めている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析
	・文書や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように，表現のしかたを工夫する。 ［教材］ 日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	a：資料を読み比べて必要な情報を読み取ることができている。 b:［読・書］複数の情報を関連付けて理解したことをまとめている。 c：必要な資料を収集し，活用できている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析
	・自説を述べるための論の進め方を捉え，「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・文章を読み，自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 ［教材］ フェアな競争	a:主張や論拠，個別と一般化，推論など，情報と情報との関係を理解している。 b:［読・書］文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 c:「社会的共通資本」の重要性について考えることができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析

※令和４年度以降入学生用

３学期	・文章や図表に含まれている情報を関係づけながら内容を解釈する方法を学ぶ。 ・読み手からの助言をふまえて目的に応じて書き直す手順を学ぶ。 ［教材］ 学校新聞の記事内容を検討する	a:資料と会話文を関連付けながら，課題に即して必要な情報を読み取ることができている。 b:［読・書］異なる形式で書かれた文章や図表を読み，理解したことをまとめることができている。 c：読み取った情報を活用することができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析
	・主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し，活用する。 ［教材］ 論理的な表現	a:主張と論拠など，情報と情報の関係を理解している。 b:［読・書］話の構成や展開を工夫することができている。 c：説得力を意識した表現ができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析
	・生命科学の観点から「死」「人間」に関して筆者の主張を支える根拠の関係性を捉える。 ・本文に取り上げられた問題について自分に照らして考えを深める。 ［教材］ 生と死が創るもの	a:主張と論拠など，情報と情報の関係を理解している。 b:［読］異なる視点からの情報を組み合わせて、話の展開を理解することができる。 c:人間の死について、関心を持って筆者の意見と自分の考えを比べたり吟味したりできる。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析
	・「遠近感」の二重の意味を文脈から把握し、文章の内容を捉える。 ・グローバル化の功罪や影響について、自らの考えを深めることができる。 ［教材］ グローバリズムの「遠近感」	a:主張と論拠など，情報と情報の関係を理解している。 b:［読・書］グローバリズムのもたらすものについて筆者の論の構成を捉え、自ら表現することができる。 c：自らを取り巻くグローバル化における影響について考えを比較することができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析
	・意見文の書き方を理解し，実践する。 ・他者の意見文を評価する。 ［教材］社会に対する意見文を書く	a:文章の効果的な組み立て方や 接続の仕方を理解している。 b:［書・聞］目的や意図に応じて適切な題材を決め，伝える内容を明確にできている。 c：他者の意見文に対して客観的に評価できている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析・定期考査	行動の観察及び記述の点検分析

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間
・書くこと　…　（　３０　）時間
・読むこと　…　（　２０　）時間